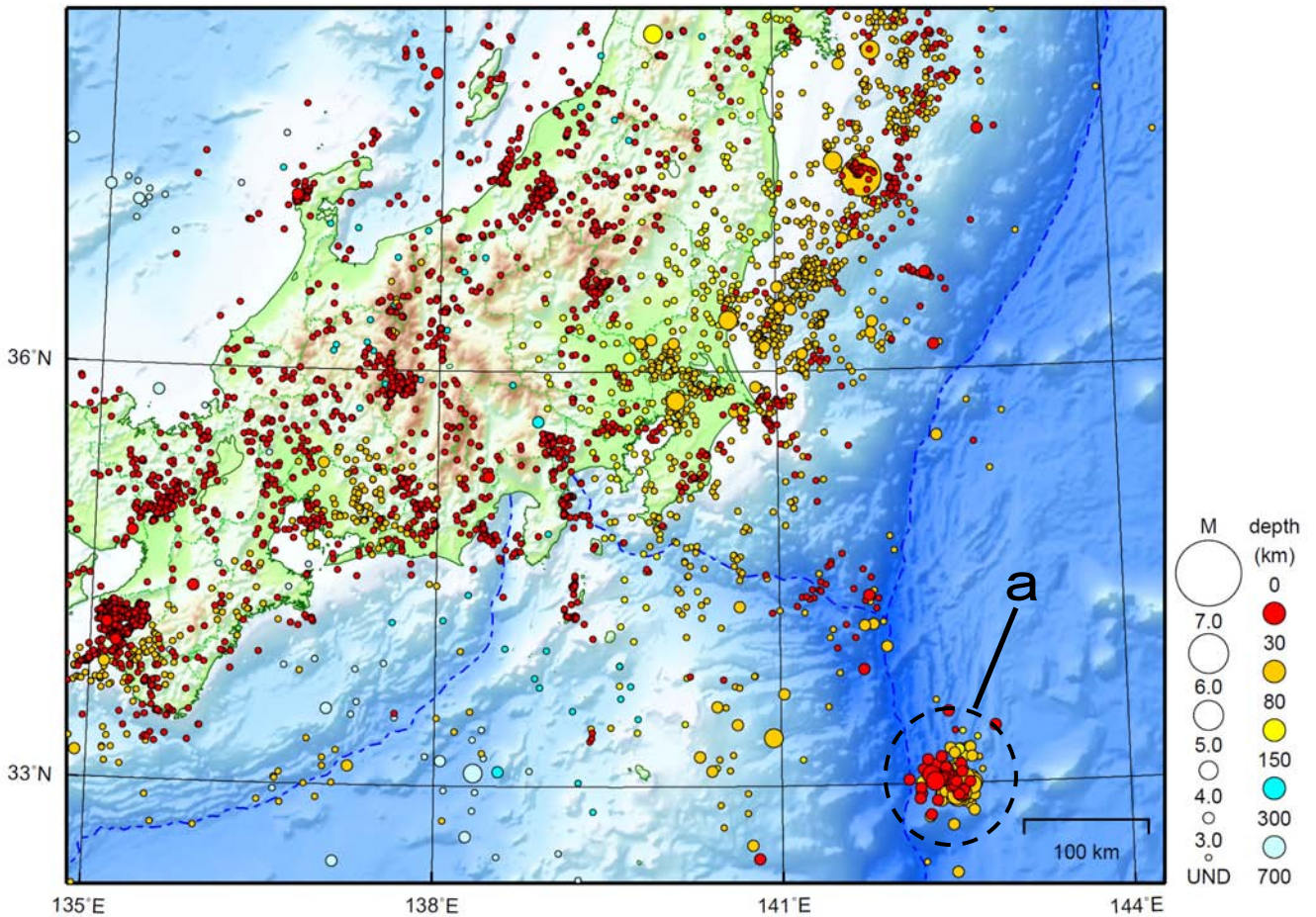


関東・中部地方

2010/06/01 00:00 ~ 2010/06/30 24:00

N=4646



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 八丈島東方沖（海溝軸の東側）で、5月29日頃から M4.8 を最大とする、やや活発な地震活動が発生している。

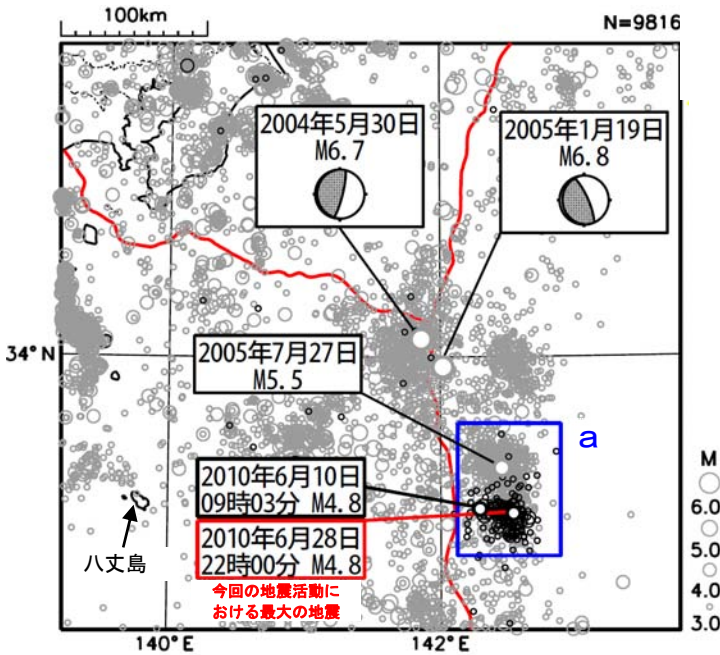
（上記期間外）

7月4日に茨城県南部で M4.5 の地震（最大震度3）が発生した。

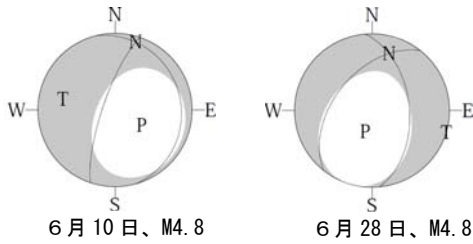
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

八丈島東方沖の地震活動

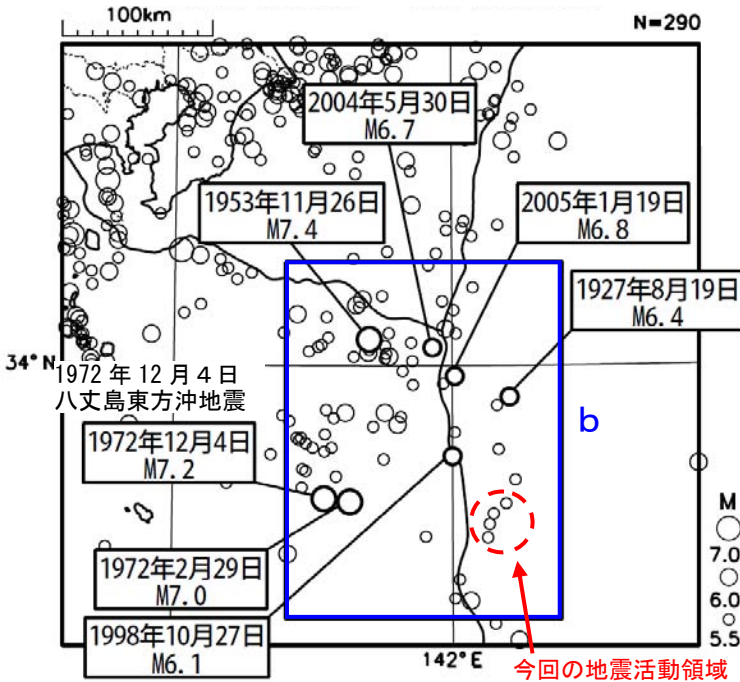
震央分布図 (1997年10月1日~2010年6月30日、
深さ0~120km、 $M \geq 3.0$)
(2010年6月以降の地震を濃く表示)



赤線は海溝軸を示す、
発震機構解はCMT解を表示。



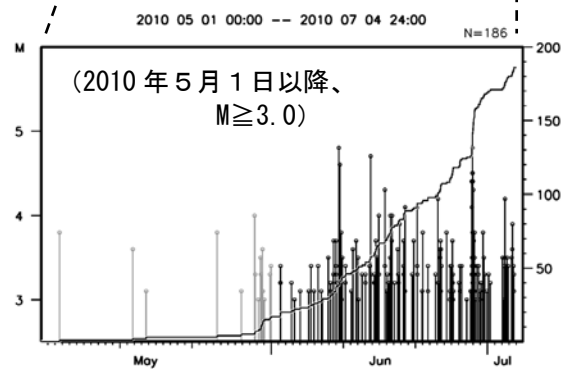
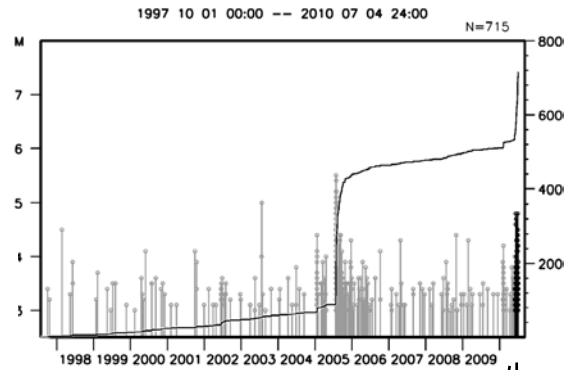
震央分布図 (1923年8月1日~2010年6月30日、
深さ0~120km、 $M \geq 5.5$)



2010年5月29日頃から八丈島東方沖の海溝軸の東側で地震活動が活発となっている。今回の活動における最大の地震は6月10日と28日のM4.8の地震である。活動は7月4日現在、継続している。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震活動の震源付近 (領域a) では、2005年7月にも同様の地震活動がみられ、約2か月継続した。最大の地震はM5.5であった。

領域a内の地震活動経過図、回数積算図



1923年8月以降の活動を見ると、八丈島の東方の海域 (領域b) では、M7.0を超える地震が3回発生している。今回の活動付近ではM6.0を超える地震は発生していない。

領域b内の地震活動経過図

